



村上守国 議員

行政の役割とは何か

質問

住民が抱えている問題、将来の有り方など質問に対し、その都度回答には満足出来るのでなくスローガンである「市民と行政の協働」によって住んでよかったと思われるまちづくりの実現に不安を覚える。

行政の役割とは何と想っているのか。私は行政の究極な役割は公平・公正の確保と民主主義尊重の基に住民が希望を持って生き生き暮らせるための舞台づくりであると考えるが。

市長

自治法の趣旨を踏まえて広く住民への事務事業を市の行政組織の中で分業しつつ実施していく。

私の公約にも市民と協働を掲げており相互理解、対等な立場での協力を進めながら各分野で各事業を推進している。その中で情報公開を徹底しながら市民参加の機会を多くし意見を行政運営に反映していく考えである。

質問

斎場を西保町地内に建設するに当たり交換条件として防

持続可能な財政運営を行うには

質問

歳入の主である市税の減少、国・県などからの特定財源確保の不透明さなどで、財源確保は極めて厳しい状況が予測される中で、今後5年間で執行される大型事業が計画推進される。

特に整備事業である総合斎苑27億2千296万円、給食センター19億9千820万円、勝幡駅前開発19億9千962万円、これ以外に庁舎建設、地域福祉政策など膨大な経費が必要である。

22年度一般会計当初予算218億円のうち自主財源44%、前年度末の財政力指数0.76と財源に余裕のない脆弱な愛西市は今後5年間どのような財源設計をするのか。

また、前年度末の市債残高が265億5千万円、市民1人当たり約40万円の借金であるが26年度末の市債残高はどれくらいか。

企画部長

市は集中改革プランにおいて27年度に財政指標の目標数値を設定している。これを堅守することが持続可能な財政運営に繋がるものと考ええる。そして過去5年間の財源計画として合併特例債を活用、基金造成を行ってきた。今後大規模事業は合併特例債及び積立て基金を有効に活用していく。また、経費の削減、有効性評価に基づく事業の取捨選択、限られた財源の有効活用を図ることが肝要である。

市全体の26年度末の市債残高は約291億3千万円の見込みである。

その他の質問

・市民農園の復活を
・職員からの提案制度について